

第2期柏市スポーツ推進計画の概要

令和6年7月26日（金）午前10時から

柏市役所本庁舎5階 第1委員会室

第2期柏市スポーツ推進計画について

○計画期間

平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）までの10年間

○計画の位置づけ

平成26年6月に制定された「スポーツ基本法」に基づき、柏市独自の計画として策定

○基本理念

「市民創スポーツ ～スポーツのある暮らし～」

みんなで力を合わせて、自分に合ったスポーツの楽しみ方や空間を見つけ出していく（創り出していく）、という思いが込められています。

○基本目標

生涯スポーツ社会を実現するため、「かかわり方（する、みる、ささえる）」、「場所」、「情報」の5つの視点から、基本理念の達成を実現します。

■数値目標 = スポーツ実施率65%

スポーツ実施率：成人の週1回以上の運動やスポーツを実施する人の割合

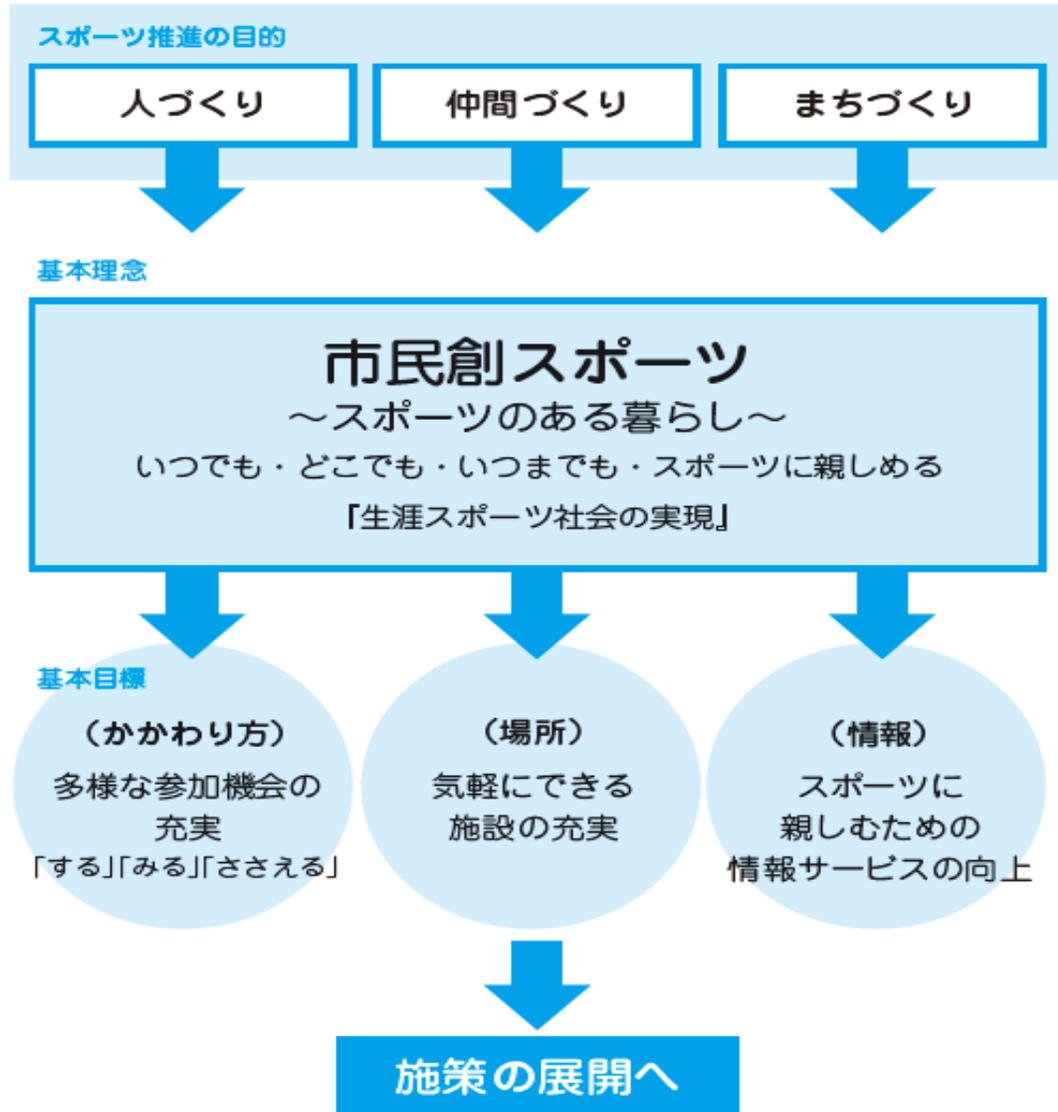
中間見直しについて

社会情勢の変化やスポーツをめぐる環境を踏まえ、10年計画の中間年である令和2年度中に見直しを実施。スポーツ活動を促進するうえで、「スポーツに取り組みにくい障がいを持つ方々」、「運動習慣の基礎を構築する時期となる幼児期や小中学生年代」、「スポーツ実施率が低い子育て世代（主に20代から40代）」を主たる対象として中間見直し版を策定（令和3年度から令和7年度まで）

- 「中間見直し版」における重点的な取り組み
 - 1. 障がい者スポーツの促進
 - 2. 子ども（幼児期）の体力づくりの推進
 - 3. ホームタウンチームと連携したスポーツ教室の開催
 - 4. スポーツドリームかしの開催
 - 5. 大型商業施設等の身近に訪れる場所での体験イベントの開催
 - 6. 指導者スキルアップ講習会の開催
 - 7. LINEなどSNSを活用したスポーツ情報発信の効果的な運用

○また、eスポーツやマインドスポーツといった大きな身体活動を伴わない競技について、今後の動向を注視していく内容を追記

○計画の基本的な考え方



基本施策 1 多様な参加ができる「する」スポーツの充実

基本施策 2 魅力ある「みる」スポーツの充実

基本施策 3 感動を分かち合う「ささえる」スポーツの充実

基本施策 4 気軽に利用できる「場所」の充実

基本施策 5 スポーツを楽しむきっかけとなる「情報」の充実

基本施策 1

多様な参加ができる「する」スポーツの充実

1. 気軽に楽しめるスポーツの充実

○市民スポーツ大会・イベントの充実

- ・手賀沼エコマラソン, 新春マラソンの充実
- ・スポーツドリームかしわの開催

○スポーツ教室等の充実

- ・スポーツ協会加盟団体の競技団体によるスポーツ教室の開催
- ・指定管理者の自主事業によるスポーツ教室の開催

2. 競技力向上の促進

○競技大会への参加支援

- ・県民大会の派遣費補助

3. 総合型地域スポーツクラブの支援

○活動の支援及び活動拠点の提供

○広報活動等の支援



↑手賀沼エコマラソンの様子



↑↓スポーツドリームかしわの様子



1. 観戦スポーツの推進

○スポーツ観戦情報の提供

- ・市のホームページやSNSによるタイムリーな情報提供

○ホームタウンチーム等との協働

- ・ホームタウンチームの競技観戦の機会の提供

2. 魅せるスポーツの推進

○観るイベントの開催

- ・パブリック・ビューイング等の開催

ホームタウンチーム

- ・柏レイソル(サッカー)
- ・ENEOSサンフラワーズ(バスケ)
- ・YBC柏(野球)
- ・JR東日本軟式野球部(軟式野球)
- ・千葉エンゼルクロス(バレーボール)
- ・積水化学女子陸上競技部(駅伝)
- ・TTC吉田記念テニス研修センター(テニス)
- ・柏ゴールデンホークス(チアダンス)
- ・NECグリーンロケッツ東葛(ラグビー)



隆の勝関が優勝がかかった際に開催したパブリックビューイングの様子

1. スポーツボランティア活動の推進

○スポーツボランティアの活動機会創出と育成

- ・手賀沼エコマラソンなど，ボランティアとして参加する機会の創出

○スポーツ推進委員の活動の充実

- ・東・西・南・北・沼南の5支部に分かれて活動

2. 奨励制度の充実

○上位大会にて優秀な成績を収めた選手，団体に対する顕彰を行う。

- ・全国大会等出場奨励金，スポーツ顕彰

3. スポーツ指導者の育成

○スポーツ指導者の資質向上支援

- ・指導者スキルアップ講習会の実施（スポーツ協会の指導者を対象とした講習会を実施）



指導者スキルアップ講習会の様子

1. 公共スポーツ施設の有効活用

○公共スポーツ施設の充実

- ・ 柏市内のスポーツ施設は16施設，市民プールは5か所

2. 学校体育施設の活用の促進

○学校体育施設開放事業の充実

- ・ 小学校42校，中学校20校，高校1校を開放中。約450団体が利用中

3. 企業・民間スポーツクラブとの連携

○民間スポーツクラブとの連携

○効率的なスポーツ情報の発信

- ・LINEなどSNSを活用したスポーツ情報発信の効果的な運用

○スポーツ観戦情報の提供

- ・市のホームページやSNSによるタイムリーな情報提供

市民ニーズに即したイベントや施設運営に関するスポーツの情報発信のツールとして、広報や公共施設への配布などのほか、XやLINEなどのSNSを活用して、より早く手軽に情報を得られるよう運営

◎次回の審議会にて、各基本施策における主要事業の進捗状況や課題を報告します。